

ボランティアフォローアップ講座⑤
ボランティア・市民活動フェスタ 2015in 佐倉
 疑似体験コーナー報告

笑顔をとどけよう



曇天の中、佐倉市中央公民館と北側駐車場でフェスタが開催されました。V連の疑似体験コーナーは、落ち着いた雰囲気できまり、特に子どもや若い方が積極的に参加されました。



日時：2015年11月22日（日）10時～15時
 会場：佐倉市立中央公民館1階 ラウンジ
 体験コーナー参加者；約110名
 スタッフ・協力をいただいた方：計27名

（根郷地区社協6名、野菊の会8名、むぎの会1名、順天堂大学学生2名、ボランティア1名、ボランティアセンターから派遣のボランティア3名、V連役員6名）

日頃生活をしていく上での困りごとや不便さを知り、困っている方にさりげなく声をかけられる人が、一人でも増えることを願って、4つのコーナーを設けました。

また、体験後、付箋にひとこと感想を書いていただき、参加者みなさんの気づきがわかるように、ボードに貼り出しました。

（付箋と交換で、修了証明書と『ユニバーサルデザインについて学ぶ』・『目の不自由な方の手伝い』のリーフレット、景品〔ティッシュ・ペン・電話お願い手帳等〕をプレゼント。）

- ◆車いすの体験
- ◆おとしより体験
- ◆ユニバーサルデザインの紹介
- ◆点字を打ってみよう！

車いすの体験

【目的】

- 車いすを使用する時の注意点を理解する。
→街の危険（段差、目線など）
- 声かけの大切さを実感する。
乗ってみて目の高さや見える位置を体感。
- 自走してその大変さの気づき。



【参加者の感想から】

- ★車いすの人は、大変だと思いました。
- ★歩いていると気にならない小さな段差が車いすではとても怖かった。どんな坂でも補助が必要だと思った。
- ★曲がる時などに壁や人にぶつかりそうになったので、不便でした。曲がる時に違う方向に行ってしまうのが難しかったです。
- ★よく駅とかで車いすに乗っている人がいるが、これほど大変だとは思わなかった。今度から手伝ってあげようと思った。
- ★目線の近い子どもには声をかけやすいけれど、大人には声をかけにくかった。

おとしより体験

【目的】

指先が不自由になり、視野が狭くなることで不便になる事を知る。

【体験概要】

- ①財布からお金を取り出し、貯金箱に入れる。
- ②電話帳の指定した電話番号を読み上げる。
- ③申請用紙に名前を書き込む



【参加者の感想から】

- ★お年寄りの大変さがわかってよかったです。
- ★お年寄りの立場になって仕事に生かしたい。
- ★実際に目が悪くなると、大変なんだなと思いました。
- ★年を取ってからの書類記入がどれほど難しいかが分かりました。
- ★とても不自由さを感じました。お年寄りの方に親切に接したいと思います。
- ★目が悪いとぼやけて字が見えないから、教えてあげることが大切だと思いました。

ユニバーサルデザインの紹介

【目的】

ユニバーサルデザインの用語の意味、考え方を理解する。物、建物、街づくり等あらゆる分野でユニバーサルデザインが取り入れられている。

【体験概要】

ユニバーサルデザインなどの道具の工夫を見つけて実際に触ってみる。



【参加者の感想から】

- ★自分が知らないことがたくさん知れた。一番驚いたのは、弱視覚障害の人のためのまな板だった。とても便利になってきてて、すごいと思いました。
- ★誰かの便利はみんなの便利。
- ★障害者に対する思いやりを感じました。
- ★シャンプー、リンスの見分け方、缶のアルコールの見分け方等、勉強になりました。
- ★昔は不便でも仕方がないとあきらめていたものが、どんどん工夫され、誰にとっても便利になったことはすばらしい。

点字を打ってみよう！

【目的】

見えない方の情報を得る一つの方法として、点字がある事を知ってもらう。

【体験概要】

- 自分の名前を点字で打ってみよう。
- 点字の本・絵本を見て読んでみよう。



【参加者の感想から】

- ★目に見えない事がこんなに大変なんだと思いました。
- ★点字を打つのが難しかったし、指で触っただけでわかるなんてすごいと思った。
- ★点字が作れるなんて知りませんでした。とても楽しかったです。
- ★読む方々の大変さがわかりました。
- ★点字は目の不自由な人に必要なものだわかりました。
- ★点字を身近に感じる事が出来て良かった。
- ★打つって力があるんですね。

ユニバーサルデザイン 展示物

- 弱視覚障害者用のまな板
- つかみやすいおはし
- シャンプーの容器
- ビールの缶(点字付き)
- くぼみのついたペットボトル
- ピン飲料(点字付き)
- キャップオープナー
- ホチキス
- 長い靴ばら
- コロコロ
- ペーパーモップ
- 折り畳み傘(軽量)
- 洗濯ハサミ(つまむ部分が長い)
- ハンガー
(ワンタッチで洋服がはずれる)



点字でおさけと表記されています。



疑似体験コーナーの風景より

- *ユニバーサルデザインの説明を聞いて、いろんな発見をして帰られる方…
- *点字コーナーで長文に挑戦している子ども…
- *何度も車いすの自走を体験しにくる子ども…
- *車いすに乗って、歩いている人に声をかける難しさを感じた大人の方…
- *おとしより体験で、見えにくさ、つかみにくさを体感して、お年寄りに優しく接しようと思ってくださった方…
- *チラシの裏に印刷してある公民館の点字を探す問題に、「見つけたよ!」と書いて持ってきてくれた子ども達…

体験されたみなさんは、体験を楽しんだだけでなく、実際に自分がその状況になったら…と、たくさんの気づきを持って帰られたようでした。